



# 羽中だより



目標 Keyword

令和7年3月24日号

安心感

寛容力

主体性

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生

## 歩んできた道 これからの道

一年間ありがとうございました！  
来年度もよろしくお願いします！

先日は本紙にて、卒業式の様子をお届けしたばかりですが、ついに、この最終号を発行する時が来ました。今年度もアツという間に時が過ぎ去り、本日、修了式及び離任式を実施したところです。

さて、この一年間を振り返ると、何よりも子どもたちの成長に最も大きな喜びを感じています。

行事への主体的な取り組み方、仲間の多様性を受け入れる寛容力と学級の安心感、そして、学習に向かう心の成長など、その高まりは目に見えて実感することができ、外部からは高く評価されたこともありました。



ただし、それは決して子どもたちがひとりで成長してきたわけではありません。保護者の皆様の愛情あふれるサポートや学校活動へのご理解、地域の皆様からの温かい励ましがあったからこそ、子どもたちは安心して歩んでこられたということに間違いありません。改めて、心から感謝申し上げます。

そして、今年度は特に「更新」の年でもありました。本校は良い意味では古くからの伝統を重んじ、逆に

言えば、時代の変化に乘れずいた慣習がありました。これに対し、今の学習指導要領で求められている教育を具現化すべく、学校行事のもち方、定期テスト

の意義の再考、PTA活動の簡素化、子どもの手による校則の見直しなど、実態と時代に適した変容に取り組みました。また、先生方の業務の負担感を軽減し教育の質を向上させるため、子どもたちの学びに支障のない限り積極的に縮小・廃止を図りました。

特筆すべきは、先生方が挑戦し続けた、今求められている授業（個別最適な学び、協働的な学び）への取組が、子どもたちに好影響を与えたことです。授業では必要に応じて端末を活用し、子どもたちが自身の力に応じた学び方ができるように心がけました。やがて先生方が授業を工夫するために試行錯誤してい

る姿を子どもたちが察するようになり、「先生方がガンバっているから自分たちも！」という声が聞こえてくるようにもなりました。さらには、子どもたちが教員と共に望ましい授業のあり方を求め、授業づくりに「参加、する」という、「学びの主体者」に近づきつつあることも大きな変容でした。黒板をノートに写し、それを単に暗記するだけではなく、課題を見いだしたり、選択したりし、その解決のために、考え、判断し、表現することができるような学習を重ねてきた成果が少しずつ現れてきています。

また、学習以外では、子どもたちのメンタル面へのサポートにも力を入れ、心のケアを大切にするべく、校内リーダーを核として、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーをはじめとした外部の専門家や地域の関係者とチームを組みながら、多様な課題の解決を目指して取り組んできました。

手前味噌になりますが、このような革新的な取組を支えたのは、日々の努力を惜しまない先生方の教育的な情熱です。先生方は常に「どうすればより良い教育ができるか」を考え、挑戦し続けています。その成果として、少しずつ子どもたちが自信をもち、前向きに学び続けることができるようになってきているのだと確信しています。

来年度も、私たちはこの歩みを絶やすことなく、新たな挑戦を恐れず、質の高い教育を提供し続けていきます。子どもたちがもっている無限の可能性を信じて、保護者の皆様、地域の皆様と共に、力を合わせ、更なる一歩を踏み出していきます。



来年度も何卒変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。そして、今年度の全ての出来事に感謝し、これからも子どもたちと共に歩んでいくことを心から楽しみながら学校づくりに励んで参ります。



## 令和7年度の最上位目標



主体的に  
考える人

# 自らの意思で行動を起こし 自他の未来に向けて学ぶ羽中生

安心して  
学ぶ集団



Well ウェルビーイング being



Keyword 01

## 主体性

自分の意志や判断において、最後まで責任をもって行動する

**自律と責任**

Keyword 02

## 思考力

自分の経験や知識をもとに、物事を考えたり、判断したりする

**知恵と想像**

Keyword 03

## 協調性

違う意見や考え方をもちあつたつと、同じ目標の達成に向けて協力する

**理解と協力**

令和7年度は、今年度の重点としていた、「個の主体性」と「集団の心理的安全性」の高まりを引き継ぎ、これに加え「思考力」、つまり「考えるチカラ」を高めるということを重点にします。

正解のない問題や課題にも自分なりの答えや解決策を見いだすことができるような姿を理想とします。学習に取り組む姿勢や仲間との協働学習への望ましい

姿が見えるようになってきた今、次なるステップは、『**勉強の意義を自分なりに考えて理解し、主体的に行動を起こし、身に付けた能力を自分の、他者の、社会のシアワセ（ウェルビーイング）のために活用しようとする人**』を目指すことです。このハードルは決して低くはありません。しかし、ウチの子どもたち誰にも到達できる可能性があると思っています。

令和7年度の学級担任及び教科担任は、学校ホームページにて春休み中（4/1以降）にお知らせします。入学・進級前にご心配なことや相談したいことなどがあれば、中学校にご連絡ください。

併せて、次年度から、以前まで行っていた始業式及び入学式での担当教員の発表は取りやめることとしますので、ご了承ください。

羽幌中学校

☎ 62-1055

ホームページ →

<https://haboro-jhs.edumap.jp>



\*\*\*\*\*

この春、7名の職員が転出することになりました。これまで皆様からいただいたあたたかいご支援、誠にありがとうございました！  
〔転出者一同〕



菅原克明 教諭  
本校在籍6年  
天塩町立  
天塩中学校  
教頭

本田倅佑 教諭  
本校在籍1年  
初山別村立  
初山別中学校  
期限付教諭



阿頼天玄 教諭  
本校在籍7年  
留萌市立  
留萌中学校  
教諭



菊池陽一 教諭  
本校在籍1年  
羽幌町立  
羽幌小学校  
期限付教諭

横山佳須美 支援員  
本校在籍  
2年11か月  
退職



橋本正茂 公務補  
本校在籍20年  
退職



【育児休暇→4/1復帰】  
小野寺優美 教諭  
本校在籍9年  
苫前町立  
苫前中学校 教諭

お世話になりました！～羽中での思い出をいつまでも～